

# 第1部

こころ豊かに〜とつかの思い出〜 地域の思い出・エピソード

区民の皆さんから寄せられた写真や戸塚にまつわる歴史、物語をご紹介します。

## 戸塚駅周辺エリア

### 戸塚駅

戸塚駅は明治20年(1887年)に東海道線(横浜～国府津間)開通と同時に開業。その後、横須賀線も戸塚駅に停車するようになりました。昭和5年(1930年)の横須賀線電化に伴い、東海道線は停車しなくなり、その後、半世紀にわたり戸塚駅は東海道線が停車しない駅でした。

開業当初は西口(トッカーナ方面)のみでしたが、昭和12年(1937年)に戸塚競馬場の観戦客のために東口が設けられ、当時は「裏駅」と呼ばれていました。



戸塚駅(明治20年(1887年)頃)  
提供:坂本写真



戸塚駅東口(昭和30年代(1955～1964年)頃)  
提供:坂本写真



戸塚駅西口(昭和44年(1969年))  
提供:坂本写真



早春の戸塚駅上りプラットフォーム(昭和55年(1980年)頃)  
出典:40万人の40年史

戸塚区の人口が飛躍的に増えたことで、朝のラッシュ時の横須賀線は定員の約3倍もの超満員でした。

### 大踏切とアンダーパス

平成27年(2015年)3月に開通した戸塚駅北側のアンダーパス。その前にあった大踏切は、ピーク時には1時間のうち57分が遮断されている「開かずの踏切」で、街の東西の往来がとても不便でした。この「開かずの踏切」を解消するため、昭和37年(1962年)から戸塚駅周辺の整備が進められました。そして50年以上を経て戸塚アンダーパスが開通し、街が生まれ変わりました。



大踏切の様子(昭和12年(1937年)頃) / 提供:坂本写真



開かずの踏切(平成23年(2011年)) / 提供:中野泰雄さん



工事中のアンダーパス東側(平成21年(2009年))  
出典:戸塚駅前地区中央土地区画整理事業事業誌



工事中のアンダーパスJR交差部(平成23年(2011年))  
出典:戸塚駅前地区中央土地区画整理事業事業誌



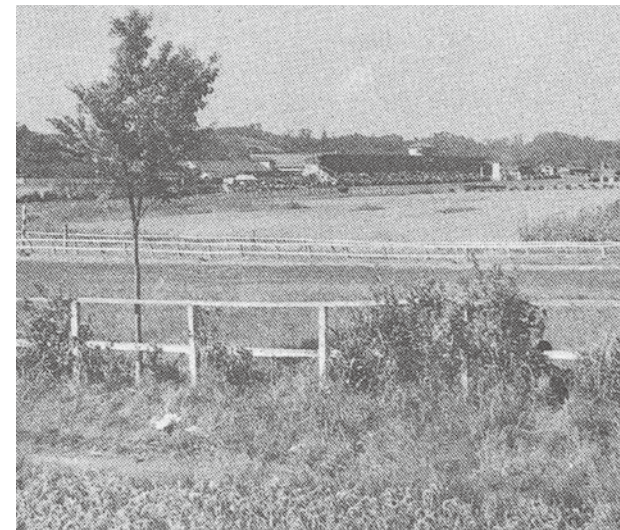
アンダーパス開通(平成27年(2015年)3月25日)  
提供:中野泰雄さん



## 競馬場

昭和8年(1933年)、吉田町(現在の東戸塚小学校の辺り)に競馬場ができました。戦時中は軍用馬訓練所になり、後に汲沢町(現在の戸塚高校の辺り)に移転しました。戦後、レースが再開され、万馬券が出るなど盛り上がりました。

昭和17年(1942年)に汲沢に移転した戸塚競馬場ですが、交通の便のよい川崎に新しい競馬場(川崎競馬場)ができたことにより、戸塚競馬場は昭和25年(1950年)10月の開催を最後にその歴史に幕を下ろすことになりました。



汲沢時代の戸塚競馬場(昭和17年(1942年)) / 提供:坂本写真



吉田町にあった戸塚競馬場(昭和8年(1933年)) / 提供:坂本写真

## PX 倉庫への引込線

終戦直後、吉田町(現在の日立製作所の辺り)の一部が接収されて進駐軍のPX(アメリカ軍施設内の売店)の倉庫が建てられました。倉庫への物資搬入のための引込線が戸塚駅そばから今の東戸塚小学校辺りまで伸びていたことを覚えています。今でも引込線の一部が残っており、当時の様子がしのべられます。

(お話:田中一好さん)



手前が引込線 / 提供:田中一好さん



真っ直ぐに伸びた通路は、かつての引込線の名残が…  
戸塚駅東口の駐輪場 / 提供:田中一好さん

## 戸塚の映画館

昭和20年代~昭和30年代頃の戸塚には映画館がありました。「戸塚劇場」で「笛吹き童子」など多くの子ども映画を見ました。当時は東映と松竹の2つの映画館がありました。  
(お話:森本剛志さん)



旭町通商店街(戦後) / 提供:坂本写真

## こんな戸塚駅も

平成23年(2011年)東日本大震災のあった翌日、電車も止まり、昼間にもかかわらず誰もいない駅。普段は見られない景色に思わずシャッターをきりました。  
(お話:中野泰雄さん)



提供:中野泰雄さん

## コラム

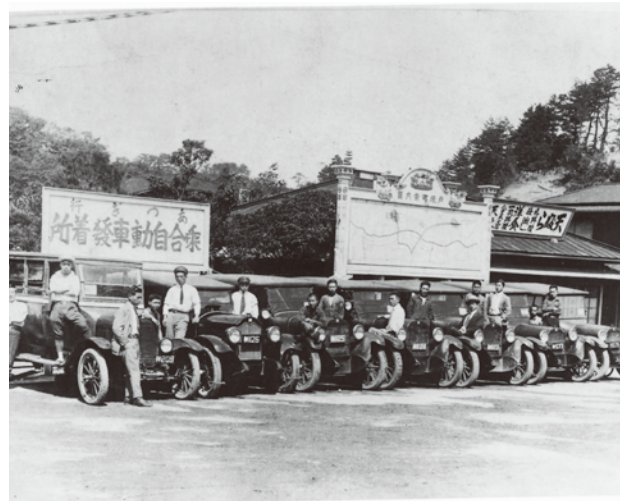
## 戸塚町の山

昭和30年(1955年)頃までは、戸塚町にある新沢池公園あたりは里山でした。

ワンマン道路ができる前は天王様(八坂神社)の道を歩いている人が見えていました。山にはウサギがいて、山百合もとてもきれいでした。自然薯掘りをしたり、正月飾り用の松の木も採っていました。小川にはドジョウ、小魚がたくさんいて、大雨の後などは自分の家の池にウナギが上がってきたこともありました。  
(お話:宮坂研一さん)



アーカイブ



戸塚町にあった乗合自動車(路線バス)発着所 (昭和初期) / 提供: 神奈川中央交通株式会社



戸塚競馬場で行われていた牛の品評会 (昭和30年(1955年)頃) / 提供: 坂本写真



ファッションショー (昭和29年(1954年)) / 提供: 森本剛志さん



戸塚小学校運動会 (昭和34年(1959年)) / 提供: 青木栄治さん



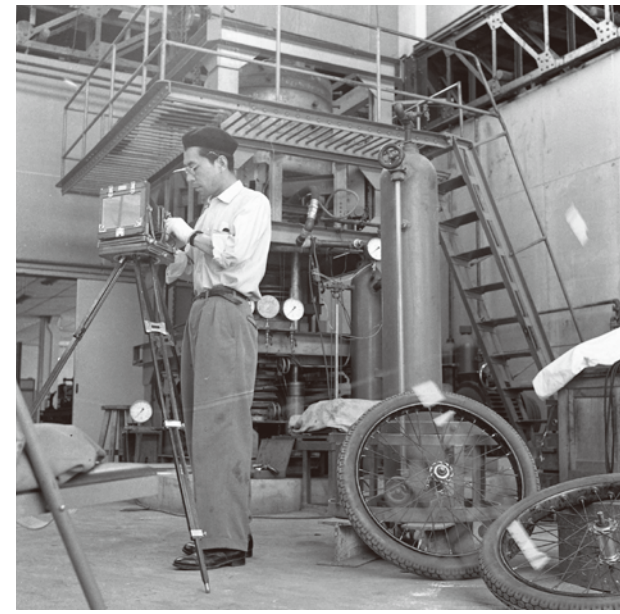
商店街でのダンス(年代不詳) / 提供: 坂本写真



元吉倉橋(年代不詳) / 提供: 坂本写真



街中を走るサイドカー(年代不詳) / 提供: 坂本写真



坂本写真 撮影風景(年代不詳) / 提供: 坂本写真



吉田町のおまつり(年代不詳) / 提供: 坂本写真



戸塚区連合飲食業協同組合の慈善大相撲戸塚場所 (年代不詳) / 提供: 坂本写真





戸塚駅東口の再開発(昭和57年(1982年))



戸塚駅西口再開発が始まる(平成19年(2007年))  
提供: 梁川春雄さん



戸塚駅東口ペDESTリアンデッキから望む建設中の区役所(左)とトッカーナ(右)  
(平成24年(2012年)) / 提供: 中野泰雄さん



戸塚大踏切デッキ(平成26年(2014年)供用開始)  
提供: 植原文子さん



提供: 木下良三さん

横浜市指定無形民俗文化財

江戸時代から続く  
八坂神社の「お札まき」

毎年  
7月14日に  
行われています



毎年家族そろって出かけ、  
縁日で欲しいものを買いました。

女装した男子の踊手が音頭にあわせて唄を歌い、翁面をつけた大幣を持つ人を先頭に町内を歩き、五色のお札をウチワで煽って天に舞わせます。

(お話: 木下良三さん)

戸塚イベント・キャンペーン・レディ

区制50周年(平成元年(1989年))の際、記念行事の盛り上げ役として「戸塚イベント・キャンペーン・レディ(戸塚レディ)」の一般公募に応募して選ばれました。夏服、冬服の制服があり、同じく50周年記念で作られたとつかのシンボルマークのペンダントも副賞でいただきました。いろいろなイベントに参加して、皆で盛り上げたことを思い出します。

(お話: 古賀理恵さん)



戸塚レディ



広報よこはま戸塚区版 昭和63年(1988年)5月号



# 旧東海道と戸塚宿周辺

## 綿屋と鎌倉ハム

戸塚宿の入口となる江戸方見付のそばで曾祖父が「綿屋」という旅籠を経営していました。正面横には馬用の水飲み場がある様子がわかります。また、店の中にはピンが置いてあったり、アルファベットの看板があったり、外国人の利用も多かったようです。特に戸塚宿でハム(のちの鎌倉ハム)の製造を始めたイギリス人「ウィリアム・カーティス」さんはよく訪れ、この綿屋で働いていた「かね」と夫婦になりました。

(お話:鈴木武道さん)

ハム製造が下柏尾村(柏尾町)で始まったのは明治10年代(1877~1886年)。英船コック長のウィリアム・カーティスは外国人専門ホテルを経営し、その裏手に200頭ばかりの牛や豚を飼いながら、ハムの加工場をつくりました。

その後、柏尾出身の斎藤角次、益田直蔵がハムの製法を習得し、日本人による本格的なハム製造が始まりました。



提供:鈴木武道さん



ウィリアム・カーティス  
出典:戸塚今昔



「かね」さん  
出典:戸塚今昔



斎藤商会の工場の様子  
(明治40年(1907年)) / 出典:戸塚今昔

## 大名行列

平成元年(1989年)、区制50周年の年に江戸方見付跡のあたりから本陣跡(現在の戸塚消防署の辺り)まで、大名行列が盛大にくり広げられました。大船の撮影所から衣装を借りて、本格的な大名行列でした。

(お話:山内悟さん)



提供:山内悟さん

### コラム

大名行列昔むかしの「へえ そうだったんだ」のお話

宿場と宿場の間の移動区間は、参列している者みんな汚れてボロボロの衣服を着ていますが、宿場近くになると綺麗な着物に着替えて宿場に入ったそうです。

(お話:鈴木武道さん)



※当行事は箱根町・箱根町観光協会・箱根大名行列保存会のご協力により盛大に行われました

## 松並木

浮世絵に描かれている松並木はかつて3kmほどありましたが、車の排気ガスにより、どんどん枯れてしまい、当時から残っている最後の1本の松も枯れて、ついに昭和53年(1978年)に切り倒されました。その時の様子は当時のニュース番組でも紹介されました。(お話:染川春雄さん)

### コラム

松並木の最後の1本

松の直径:90センチ  
松の高さ:約30メートル



提供:染川春雄さん

## お軽勘平と「お軽そば」

子どものころ東京から引越してきて一番最初に「戸塚」を意識したのは、国道1号線の松並木の景色が「歌舞伎仮名手本忠臣蔵」の「お軽勘平」が描かれている浮世絵の絵と同じだったことです。国道そばにあった食堂に「お軽そば」というメニューがありました。

(お話:佐々木峰子さん)



歌川豊国  
「東海道五十三次の内 戸塚駅 早野勘平」  
横浜市中央図書館所蔵

### コラム

トヅカ?トツカ?

昔は地元の人々は戸塚を「トヅカ」と発音していました。いつのころからか「トツカ」に。(お話:宮坂研一さん)

## 旧東海道と大橋



吉田町にある大橋と青い空 / 提供:中野泰雄さん



浮世絵に描かれている大橋(戸塚駅地下コンコース壁面)



# 東戸塚駅周辺エリア

## 東戸塚駅

東戸塚駅周辺は、もともと田畑や林が広がる静かな地域でした。  
発展のきっかけは昭和55年(1980年)の東戸塚駅の開業です。

明治20年(1887年)、保土ヶ谷駅と戸塚駅が開業した直後から、「中間に新駅を」との声があがり、住民運動が起こりました。

その後、大正12年(1923年)には運動が実り「武蔵駅」という駅名まで決定しましたが、国会審議中に発生した関東大震災の影響で立ち消えになってしまい、その後の運動も戦争のため中断してしまいました。  
昭和40年(1965年)に運動が再燃し、多くの人たちの署名や陳情書が、市を通して国鉄総裁に提出されて、100年近くにもおよぶ周辺住民の悲願であった東戸塚駅の設置が実現しました。



開業当時(昭和55年(1980年)) / 提供: 染川春雄さん



東戸塚駅東口(昭和56年(1981年)頃) / 提供: 佐藤恭弘さん



東戸塚駅前(昭和60年(1985年)頃)

## 環状線

片側3車線になる環状2号線の計画用地は、とても広大でした。  
(お話: 染川春雄さん)



(昭和52年(1977年)) / 提供: 染川春雄さん



(平成24年(2012年)) / 提供: 染川春雄さん

## 歴史を刻む鉄道トンネル

JR東戸塚駅の保土ヶ谷寄りにトンネルがあります。  
清水谷戸トンネルしみずやとといって、向かって左側の上り線側は、明治20年(1887年)の戸塚駅から保土ヶ谷駅の開通当時に建設され、現役で利用されている日本最古の鉄道トンネルです。右側の下り線側も明治31年(1898年)の建設で、いずれも100年以上の歴史があります。



## 新しいまちの中に…

昔このエリアは「長作地区」と呼ばれていました。  
母家の中には牛や馬がいたそうです。  
向こうに見えるのは、川上第一団地と横浜新道です。  
(お話: 常盤欣二さん)



(年代不詳) / 提供: 常盤欣二さん



アーカイブ



昭和39年(1964年)の平戸/提供:齋藤晃さん



開業間近の東戸塚駅前広場(昭和55年(1980年))



東戸塚駅開業(昭和55年(1980年))



開業記念切符購入の列(昭和55年(1980年))



東戸塚駅前の冬のイルミネーション



肥田牧場(品濃町)の牛たち

空撮で見る  
戸塚 ①



提供:NEXCO東日本



# 横浜ドリームランド

昭和39年(1964年)に開園し、長い間区民に親しまれた「横浜ドリームランド」。  
 惜しまれつつも平成14年(2002年)に閉園しました。  
 現在は、敷地の東側は横浜薬科大学キャンパスになり、  
 ホテルエンパイアの建物はそのまま活用されています。



畑が広がっていたドリームランド建設前の丘(年代不詳)



右側には建設中のドリームハイツ(年代不詳)  
 出典:「わたしたちのまち」深谷台小学校



昭和52年(1977年) / 提供:横浜市史資料室

## モノレール

大船駅から横浜ドリームランドを結ぶ「ドリームモノレール」が昭和41年(1966年)に完成し、  
 当時は県下最長の5.6kmを8分で運行していましたが、  
 残念ながら昭和42年(1967年)にわずか1年5か月で運行中止になりました。



昭和41年(1966年)頃 / 提供:田中一好さん

# 戸塚と川

## 柏尾川

昭和初期の柏尾川にはボート乗り場がありました。  
 時には川で舟遊びをする様子も見られました。  
 (お話:山口道子さん)



昭和初期の柏尾川 / 提供:山口道子さん



戸塚の街が桜色に… / 提供:中野泰雄さん

## 阿久和川

区内の川にはウナギが生息しています。阿久和川で  
 カワウとウナギの格闘に出会いました。決着は…  
 ウナギが大きすぎてカワウが諦めました。  
 (お話:長嶋春夫さん)



提供:長嶋春夫さん



川がとてもきれいな水鏡に… / 提供:保田輝子さん



柏尾川から望む建設中の区役所(平成24年(2012年))  
 提供:中野泰雄さん

## 平戸永谷川



平戸永谷川のカワセミ / 提供:長嶋春夫さん



## 名瀬の養蚕

開港後の横浜の主な輸出品であった生糸。各地の農村で生糸が生産されていましたが、鎌倉郡中川村(現在の上矢部、名瀬の辺り)でも養蚕が盛んでした。写真は「屑繭整理講習会」のもの。生糸を取るときに出る屑物を利用して製品にしていたようです。



昭和3年(1928年) / 提供: 門倉麻紀子さん

## 戸塚の煙突

戸塚のランドマークでもあった大きなブリヂストンの煙突は今もありませんが、煙突に書いてある会社名の変遷は時代の移り変わりを感させました。



「ブリヂストンタイヤ株式会社」  
(昭和13年(1938年))



「日本ゴム株式会社横浜工場」  
(昭和17年(1942年))  
戦争激化に伴い日本語の社名表記に…



「BRIDGESTONE」  
(平成元年(1989年))

提供: 株式会社ブリヂストン

## 炬火リレー

「かながわゆめ国体」(平成10年(1998年)開催)の炬火リレーが戸塚を駆け抜けました。



提供: 株式会社ブリヂストン



提供: 株式会社ブリヂストン

## 団地の開発

昭和46年(1971年)、上倉田町の小田急団地の開発が始まりました。現在の明治学院大学の場所にあった山からの景色はとても広大でした。  
(お話: 横山善実さん)



提供: 横山善実さん



### 大わらじ

下倉田町の<sup>みなみやと</sup>南谷では、農業の無事と往来する人々の旅の安全を祈願して、「わらじ」を奉納する習わしがありました。大正時代の頃から“大わらじ”を奉納するようになり、現在も3年に一度新しいものに掛け替えています。



### 猫伝説

地下鉄踊場駅周辺に伝わる猫伝説を知っていますか。とつかに昔から伝わる「トラ」という猫のお話です。その猫伝説に因んで、踊場駅はいろいろなところで猫に出会えます。「関東の駅100選」にも選ばれています。



「猫の踊場伝説」(「とつかの歴史ろまん」より)



### 戸塚に大雪

小さい頃、たくさん積もった雪に大喜び！  
原宿にある国立横浜病院(現在の横浜医療センター)近くでスキーをしました！

(お話:高橋理愛さん)



(昭和53年(1978年)) / 提供:高橋理愛さん

### アーカイブ



大山道にて(昭和51年(1976年)) / 提供:横浜市史資料室



日立工場の様子(年代不詳) / 提供:坂本写真



横浜～平塚間の急行バスがワンマン道路料金所を通過(昭和33年(1958年)) / 提供:神奈川中央交通株式会社



不動坂付近(昭和37年(1962年)頃) / 提供:株式会社ブリヂストン





俣野別邸



まさかりが淵



東俣野から…

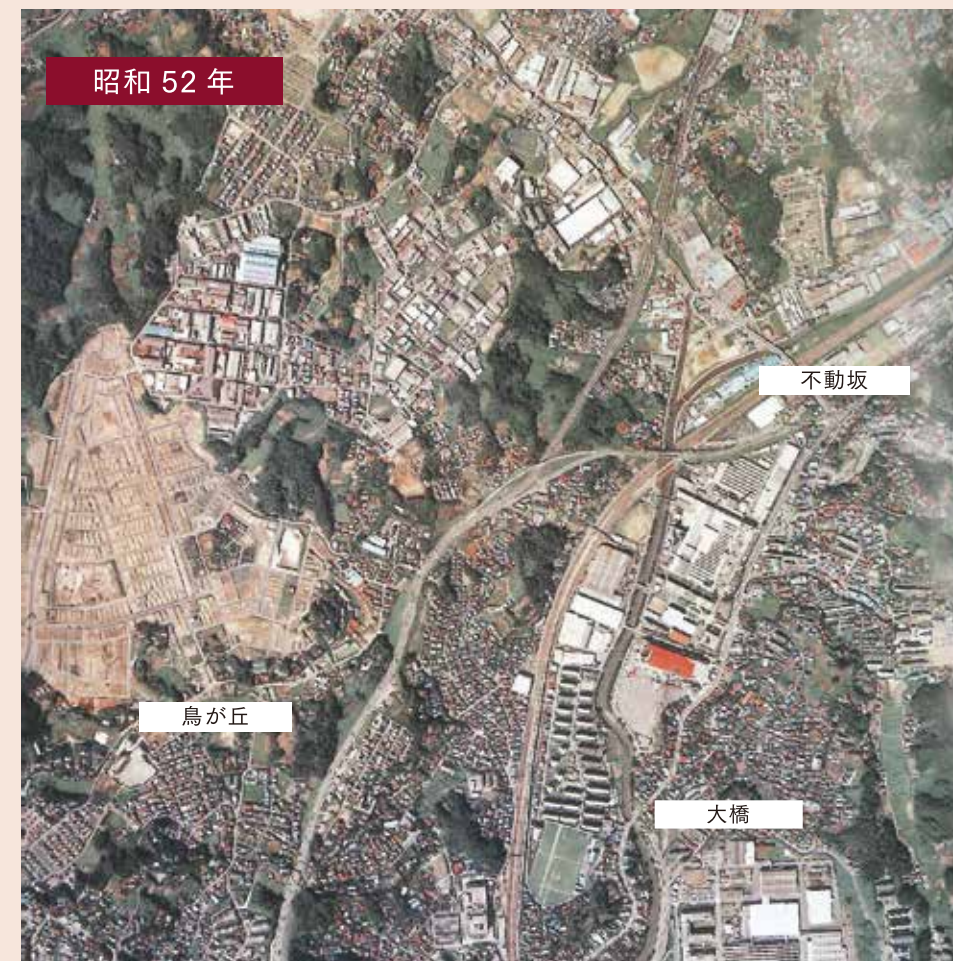


舞岡公園



上矢部ふれあいの樹林

空撮で見る  
戸塚②



提供：NEXCO東日本